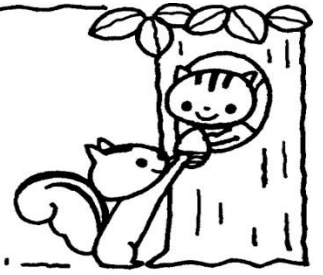




いすぐみだよ

分園1歳児



令和4年8月1日

「自分でやりたい」

暑い日が続いていますが、子どもたちはほぼ毎日、水遊びや感触あそび（氷、泡、水風船など）をしています。水遊びや感触あそびを始めた頃は、すぐに手を伸ばして触ってみる子、少し様子を見てからあそび出す子、じっと様子を見ている子と様々でした。しかし、毎日遊んでいく中で保育者が遊び方を見せたり、友だちが遊んでいる様子を見る中で、どの子も自分から遊ぶようになってきました。遊びの中で「冷たいね」「気持ちいいね」など感触の言葉を伝えるようにしながら遊ぶと「冷たい」と言ったり、ぬるい水を触ると「あつい（温かい）」と言葉で伝える子もいます。まだうまく伝えられない子は、気持ちがよいと笑ったり、嫌だと感じると首を横に振るなどの姿が見られるようになってきました。また着替えをすることが増えたことで、今まではほとんどの着替えを保育者が行っていました。オムツやズボンの上の部分を持って自分で足を入れようとしたり、引っ張って履こうとするなど、自分でやろうとする姿が見られるようになってきています。そのようなときは「いちにのさん」と声を掛けながらさりげなく手伝い、自分で「できた」と感じられるように関わるようにしています。あそびや生活の中で「自分でやりたい」という気持ちが芽生えてきています。「自分でやりたい気持ち」を大切に言葉にしてあげたり、少し手伝ってあげることで気持ちが満たされ、次のチャレンジにつながっていきます。子どもの「やりたい」は時間もかかり大変なことも多いですが、子どもの「やる気」を上手に受け止め、少しずつ「できる」を増やしていくようにしていきたいですね。

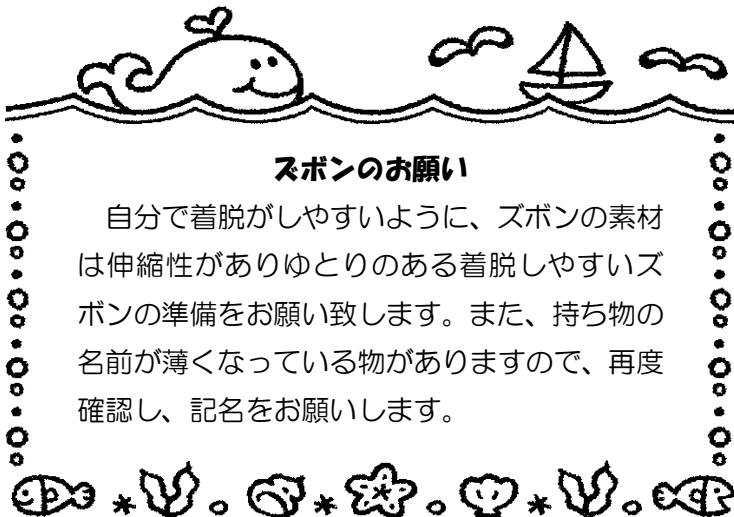


《今月の目標》

- ・保育者や友だちと一緒に夏のあそびをする。
- ・保育者と一緒に着脱しようとする。

《活動内容》

- ・水遊び・感触あそび（氷、片栗粉粘土、砂、水風船など）
- ・巧技台遊び・新聞紙遊び・体操
- ・指先遊び（シール、粘土など）



スポンのお願い

自分で着脱がしやすいように、スポンの素材は伸縮性がありゆとりのある着脱しやすいスポンの準備をお願い致します。また、持ち物の名前が薄くなっている物がありますので、再度確認し、記名をお願いします。

